

平成 27 年 1 月 30 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 和歌山県立向陽高等学校 田中克介 中村志芳
2. 講師氏名: 京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 Denis FRATH 博士
3. 同行者氏名: 京都大学大学院工学研究科合成・生物化学専攻 内田洋介
4. 実施日時: 平成 27 年 1 月 29 日 (木) 14:30 ~ 15:35
5. 参加生徒: 2 年生 78 人、 ___ 年生 ___ 人、 ___ 年生 ___ 人 (合計 80 人)
備考: 環境科学科の生徒
6. 講演題目: (英文) From France to Japan: a journey through chemistry
(和文) フランスから日本へ 化学の旅
7. 講演概要:

京都大学大学院の Denis FRATH 博士を招聘し、蛍光物質の先端研究について講演して頂いた。講義のスタイルは、プレゼンテーションのスライドを使用し、英語によって講義をした後、通訳者による日本語をおりまぜながら、質疑応答を行なった。講義内容は自己紹介に始まり、さらに母国の生活スタイルや教育について簡単に説明して頂いた。さらに本論の研究内容に至っては、蛍光の原理、さらに近年、医学研究で利用されている蛍光物質の開発について、説明して頂き、理解を深めた。
8. 使用言語: 英語 日本語
9. 講演形式:
 - (1) 講演時間 55 分 質疑応答時間 10 分
 - (2) 講演方法 (例: プロジェクター使用による講演、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講演、簡単な実験を行なった。
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
日本人同行者によるサポート、日本語説明
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行なった場合のみ)
プリントによる講演の基礎知識、キーワードの説明
10. 学校からの支給経費(該当がある場合): 交通費 宿泊費 謝金
11. その他特筆すべき事項: 特になし